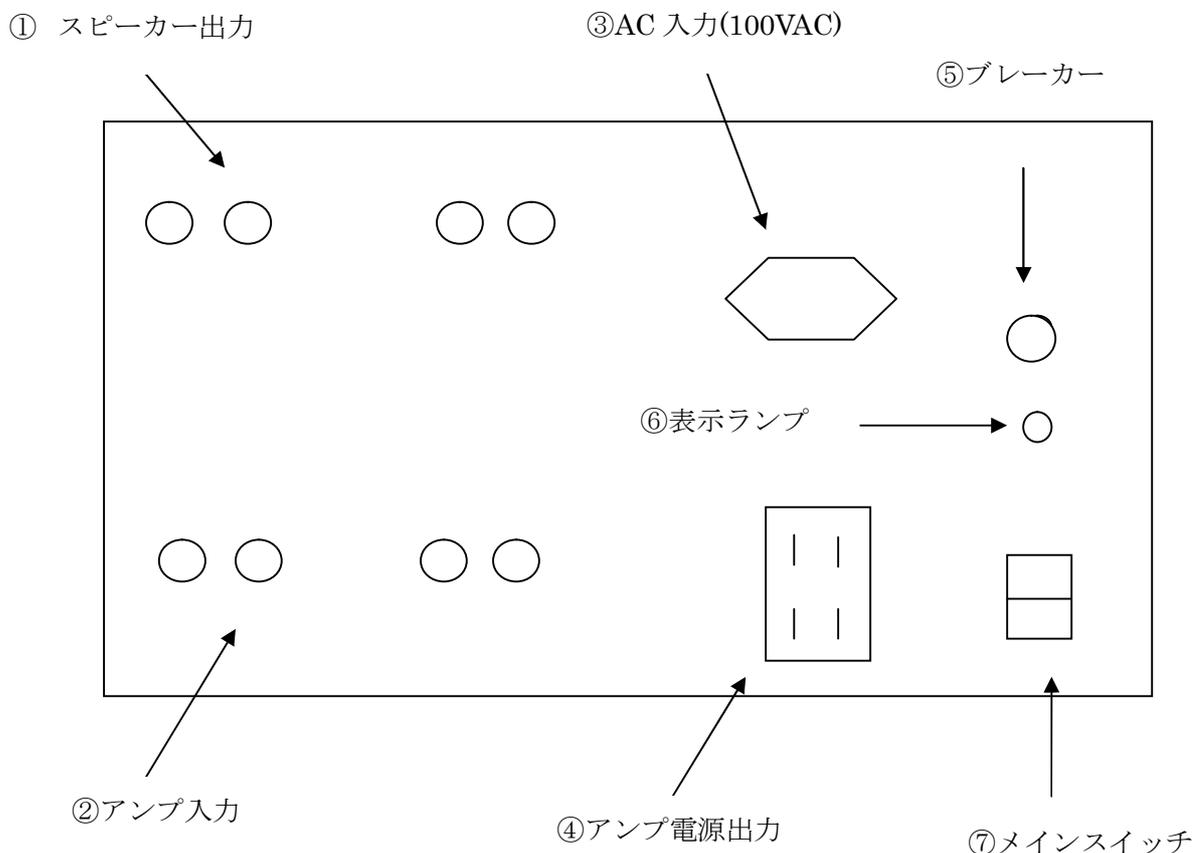


## JBL パワーアンプ用スピーカー・プロテクターについて

本機には3つの機能があります。

- 1) JBL アンプには電源の ON/OFF スイッチが付いていません。JBL SG520 と組み合わせて使用する場合は F22 パワーリレーで電源の ON/OFF ができますが、本機では F22 と同様、電源の ON/OFF が可能です。
- 2) JBL パワーアンプはその回路設計においてミュート機能をもたえていません。そのため電源の ON/OFF 時に出力段のトランジスターに掛かる電流が安定するまで少し時間が掛かるため、いわゆるショックノイズがスピーカーから出ます。場合によっては思わぬ大きな音になることがあり、ウーハーコーンが大きく前後に振られてスピーカーにもよくありません。本機の電源を ON にすると JBL パワーアンプには電源が入りますが、スピーカー出力直ぐには出ないでミュートが働きタイマー(約10秒程度)で、アンプが安定してからスピーカーに信号が供給されますのでいわゆる「ショックノイズ」を回避することができます。
- 3) JBL アンプを含めトランジスターアンプでは故障により DC(直流成分)が漏れることがあります。最悪の場合スピーカーを破損させる可能性があります。本機では組み込んである電子回路の働きでアンプからの DC 漏れを検知するとスピーカーの信号を遮断して、スピーカーの破損を未然に防ぎます。

### JBL パワーアンプ用プロテクター電源ボックス (図1)



#### 使用に際しての注意点

1. スイッチをオンにしてからスピーカーがオンになり音声信号が出るようになる時間は約 10 秒です。
2. スイッチをオンにしてランプが「赤」に点灯、約 10 秒後にランプが「青」に点灯してスピーカーがオンになります。電源を OFF にしても暫くランプが「赤」く点灯し続けますが、異常ではありません。
3. アンプとスピーカーの端子は反対に接続しないでください。  
アンプの直流漏れを検出するセンサーがアンプ側に付いているためアンプからの直流漏れを検出できないため保護回路が動作しません。
4. スピーカーがオフ状態でもほんの僅かな音漏れがありますが  
スピーカーを保護するためには問題有りません。  
(半導体スイッチを保護するためノイズキラーが入っています。)
5. 内部の電子回路を動作させるため本機には必ず 100VAC を入力してください。  
アンプ電源を昇圧して使用する場合は本機のアンプ電源出力コンセントから取った電源を昇圧トランスにつないでください。

以上